みんなが笑顔でつながる・ぬくもりと輝きのまち調布

市報

ちょうふ

令和5年（2023年）
No.1733 3／5

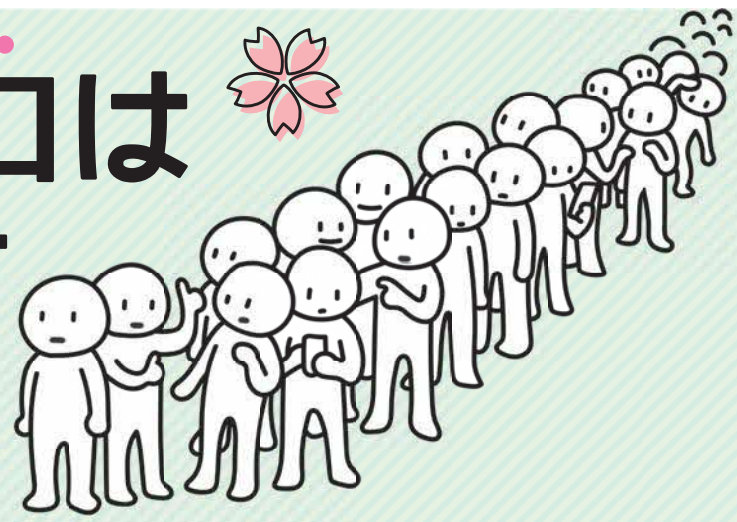
発行：調布市（毎月５日・20日発行）
編集：行政経営部広報課
所在地：〒182-8511 東京都調布市小島町 2-35-1
市ホームページ：https://www.city.chofu.tokyo.jp/
☎042-481-7111

CONTENTS（主な内容）

市民課窓口に行かなくても自宅でできる手続き……2
LINEの便利機能……3
市独自のパートナーシップ宣誓制度を創設……4
手話を学んでみませんか?……8・9

市報ちょうふの配布に関する問い合わせは
市報ちょうふ配布コールセンター
☎042−300−3131

3・4月の市民課窓口は大変混みあいます



3・4月は転入や転出などで多くの方が市役所に来庁されるため、市民課窓口は混雑します。

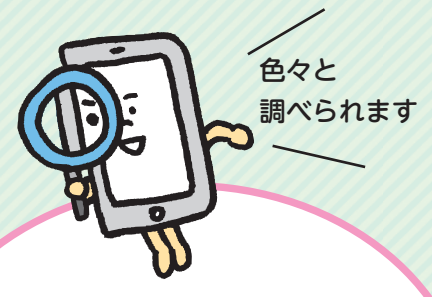
市役所に行く前にLINEで窓口の混雑状況を確認しませんか？

LINEの登録方法

右のQRコードを読み取るか、LINEのホーム画面の検索バーで「調布市」と検索して、友だちに追加してください。

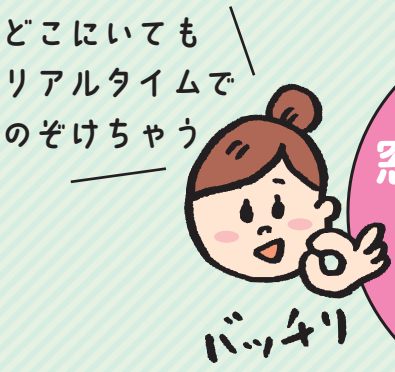
調布市LINE公式アカウントに登録すれば

スマホでLINEから窓口の混雑状況が分かります！



ほしい情報を引き出すナビゲーション機能が充実

画像付きの大きなメニューがLINEのトーク画面に表示され、画面上の各項目をタップすると市HPやSNSなどにリンクし情報をいち早く入手できます。



窓口混雑状況はココから確認できます！

問広報課☎481−7301

市のLINEや来庁せずにできる手続きの詳細は2・3面をご覧ください ➡

手をつなぐ樹 417

忘れ得ぬ師の恩情

過日、再開した高校の同窓会に出席した。私は故あって高校は２校に通ったが、今回の対象は最初の大阪の学校で、入学したのは55年前のことになる。半世紀以上前の記憶はかなり断片的なもので覚束なく、加えて中退後に交遊を継続した友人も皆無となれば、在京同窓会の存在を４年前に初めて知ったものの、当初は当然ながら参加することをかなり躊躇した。敷居はかなり高かったと言わざるを得ない。

しかし、それにも拘わらず、そのとき思い切って申し込んだのは、インターネットで垣間見た過去の同窓会の情景に在校時の担任の先生のお姿を確認し、お元気なうちにお会いしたいと強く思ったからだ。

故あってと書いたが、高校２年生の１月という極めて中途半端な時期に退学するには、もちろん学業を含めて行き詰ったそれなりの事情が存在した。だが、転校を決意したものの、実は退学届を提出した時点では、上京後に編入させてもらう学校はまだ決まっていなかった。退学届けを持参した母を前に、先生は何度も私の身の上を案じて下さったそうだ。その心に沁みる恩情に対して、何としても一度直接お会いしてお礼を申し上げたい。ずっとそう思い続けてきた。それが４年前に同窓会に初出席した動機であり、先生に感謝の念をお伝えすることができて、やっと長年の胸のつかえがおりた気がした。

今年は先生にはお会いできなかったが、このようなはぐれ者を会は今回も温かく迎えて下さった。多くの人に支えられて生きている。そのことをまた実感した有難いひとときだった。

調布市市長 長友貴樹

●市報3月5日号の掲載情報は2月27日時点のものです

R70 古紙パルプ配合率70%再生紙を使用
VEGETABLE OIL INK